

嵐山モンキーパーク

前川江玲奈

(2017年度入学 鈴木ゼミ 1期生)

嵐山モンキーパークは、嵐山の支峰・岩田山にある野猿公園である。山全体がまるまる猿山になっており、120頭ほどのニホンザルが野生の状態で暮らしている様子を間近で見ることができるので、「日本の風変わりなスポット」として外国人観光客からも人気のスポットになっている。私は友人と嵐山散策をした際に訪れたことがあるのだが、私自身動物が好きということもあり、それ以来お気に入りの場所となっている。今回はこの嵐山モンキーパークについて紹介していきたい。

実はこのモンキーパークは意外と歴史のある場所であるらしい。昭和29年（1954）京都大学理学部の研究員によって嵐山に生息する野生のニホンザルの餌付けが始められた。その翌年には餌場にサルが集まるようになり、これを一般にも公開できるように整備し、昭和32年（1957）に開園したのが「嵐山モンキーパークいわたやま（岩田山自然遊園地）」である。園当初、約50頭のニホンザルが確認され、増え過ぎて猿害が発生した時期もあったが、現在は約120頭が園内で暮らしているようだ。

嵐山のシンボルである渡月橋を南に渡って川沿いを約20m行くと、櫟谷宗像神社の境内の左手に入園口が見えてくる。入園料は大人（高校生以上）が500円で、子ども（4歳～中学生）が250円となっている。入園料を支払い、パンフレットを受け取ると、猿たちの居る山頂の休憩所まで、約20分間のハイキングを楽しむことができる。はじめに120段の階段が待ち構えているが、その後はなだらかな登り道が続いていて、四季折々に移り変わる山々の風景と、新鮮な空気を堪能することができる。それほど険しい訳ではないので、子どもでも問題なく登ることができるが、普段あまり運動をしない人にとっては少しきつい道のりかもしれない。歩きやすい靴を履いて行くのがオススメだ。また道中にはモンキーパークにちなんだ「オサルクイズ」や、ロング滑り台などの遊具も用意されているので飽きることなく楽しみながら登ることができるのではないだろうか。

ハイキングを終え、山頂に到着するといよいよ猿たちとご対面だ。広場や池の周り、木々の上などそこら中に猿が暮らしている。嵐山では季節ごとの草花を楽しむことができるが、嵐山モンキーパークいわたやまでは、それに加えて四季折々の猿の顔が楽しめる。春は猿たちの出産シーズンなので、小さい子猿のかわいらしい姿を見ることができる。春の陽気の中、気持ち良さそうにうつらうつらする親子猿の姿は必見。夏は子猿が少し大きくなって一番やんちゃになる頃。活発に動き回り、エサをおねだりする姿はこの時期ならではののだそう。秋は嵐山の豊富な木の実を猿たちがこぞって食べている姿が見られる。冬の見ものは「猿団子」。寒さをしのぐために猿たちが“おしくらまんじゅう”のような状態になるのは冬限定。このように、春夏秋冬で違った猿の姿を楽しむのも魅力である。

また、猿たちと楽しい時間を過ごすためにいくつか注意事項があるそうなので紹介したい。

<注意事項>

1. サルの目を見つめない。
威嚇していると思われる可能性があります。サルの表情が上歯を隠し、下歯をむき出しにしているときは怒っているなので、特に注意が必要です。
2. サルに触らない。

触れることができる距離にサルがいることもあります、無視しましょう。

3. サルに食べ物を見せない。

飛びつかれたり、持ち物を引っ張られたりする可能性があり、危険です。餌は休憩所兼売店で購入することができ、施設の中からですが、サルに餌をあたえることができます。

注意事項にもある通り、猿たちはとてもデリケートな生き物である。むやみに刺激したりせず、マナー・モラルを守って節度ある行動をすることがモンキーパークを満喫する上で重要なことではないかと思う。また、休憩所内にある売店ではバナナやリンゴ、ピーナッツなどのエサが1袋100円で販売されていて、休憩所の中からエサやりをすることができる。なんとこの休憩所は全面金網で囲まれており、まるで人間が檻の中に入っている様な状態でエサをあげることができる。普段動物園などで猿を見るとときと立場が逆転するのがとても面白い。せっかくなので手渡しでエサをあげたいところだが、エサ用の棚の上に置いてエサをあげるといふ決まりがあるそう。それでも猿たちがエサ食べる様子を間近で見られるというのはとても貴重な体験といえるのではないだろうか。私も実際にエサやり体験をしたのだが、可愛くエサをおねだりしてくる猿たちにとても癒された。

そして、このモンキーパークの魅力は猿たちだけではない。標高160mの場所にある山頂からは京都市内を一望することができ、この景色はまさに圧巻だ。平安神宮の大鳥居や比叡山、天気の良い日には京都タワーを見ることがもできるそうなので、探してみるといいかもしれない。猿の顔出しパネルやバナナのモニュメントなど、モンキーパークならではのかわいいフォトスポットも用意されているので思い出作りにもオススメだ。

嵐山という京都でも有数の観光地に位置する、嵐山モンキーパークいわたやま。意外と訪れたことがない人も多いのではないだろうか。猿とのふれあいだけではなく、京都の景色や自然や満喫でき、子供から大人まで楽しむことができる素敵なスポットだと思うので、ぜひ一度足を運んでみてほしい。

参考文献

[嵐山モンキーパークいわたやま公式HP]

[嵐山モンキーパークの歴史]

[京都と観光とグルメのブログ]

[【コロナ対策情報付き】嵐山モンキーパークいわたやまの楽しみ方をガイド！家族で楽しめるアクティビティも]